

平成 29 年度

第 2 回細胞検査士会役員会

議案書

日時：第 56 回日本臨床細胞学会（秋季大会）

2017 年 11 月 17 日（金） 15：00-16：00

場所：ホテルオークラ福岡 3F メイフェア

I. 開会		p 1
II. 会長あいさつ		p 1
III. 議事録確認		
1. 平成 29 年度細胞検査士会第 1 回役員会議事録案	【資料 1】	p 7
2. 平成 29 年度 細胞検査士会総会議事録案	【資料 2】	p 10
IV. 報告事項		p 1
V. 議案		
VI. 確認・検討事項		
1. 精度保証委員会活動方針について		p 6
2. その他		p 6
VII. 資料		
【資料 1】 確認：平成 29 年度細胞検査士会第 1 回役員会議事録案		p 7
【資料 2】 確認：平成 29 年度 細胞検査士会総会議事録案		p 10
【資料 3】 報告：情報委員会 Internet Cytology 症例掲載状況，他学会からの転載許諾申請		p 12
【資料 4】 確認：精度保証委員会 標本作製法に関するアンケート		p 13
【資料 5】 報告：平成 29 年度第 1 回細胞検査士会創立 50 周年記念事業会 全体会議		p 14
【資料 6】 報告：平成 29 年度第 2 回細胞検査士会創立 50 周年記念事業会 会議		p 20
VIII. 閉会		

I. 開会

II. 会長あいさつ

III. 議事録の確認

1. 平成29年度細胞検査士会第1回役員会議事録 【資料 1】 p 7
2. 平成29年細胞検査士会定時総会議事録 【資料 2】 p10

IV. 報告事項

1. 総務委員会

- 1) 平成28年度事業報告及びこれに伴う収支決算書案作成
- 2) 平成29年度細胞検査士会第1回役員会議案書作成
- 3) 平成29年細胞検査士会定時総会議案書作成
- 4) 平成29年度第2回細胞検査士会役員会議案書作成

2. 経理委員会

- 1) 平成29年度細胞検査士会収支計算書作成予定
- 2) 平成30年度細胞検査士会予算案作成予定
- 3) 平成30年度細胞検査士会監査会開催予定
平成30年3月末日 日本臨床細胞学会事務局

3. 庶務委員会

- 1) 物故会員
平田 守男（ひらた もりお）殿 CT0001
- 2) 29-30年度役員名簿作成
- 3) 平成29年度第1回細胞検査士役員会議事録案作成
- 4) 平成29年度細胞検査士会総会議事録案作成
- 5) 委嘱状等，細胞検査士会発行番号・公印付文書の発行（第17-0001号～第17-0461号）
- 6) 弔電1件，供花1件

4. 規約委員会

「役員会運営に関する細則」「役員選任に関する細則」「委員会に関する細則」
「委員会業務分担要綱」の変更

5. 渉外委員会

- 1) 子宮の日の活動：2017 Love49プロジェクト
今回も47都道府県（100.0%）が参加致。今回は細胞検査士会から提供するグッズとしてポケットティッシュを6万個と新しい幟を200枚作成し，全国の都道府県へ配送した。
- 2) 平成28年度細胞検査士会公益広報活動調査（啓発・社会活動と育成・養成活動）
平成28年度細胞検査士会活動調査は，【啓発・社会】と【育成・養成】に分けて実施した。
（調査期間：5月から10月）（回答率87%；41都道府県）
 - ① 啓発・社会活動の報告
2016 Love49 キャンペーン実施都道府県数：47都道府県（100.0%）
総イベント数：72イベント，参加者数：約1,873名（細胞検査士1,149名，臨床検査技師

355名, 医師38名, その他331名)

② 育成・養成活動の報告

開催数：91（複数開催した都道府県あり），参加者数：約2,763名（細胞検査士1,312名，臨床検査技師1,314名，医師131名，その他6名）

③ 子宮頸がん検診推進活動支援金のアンケート（抜粋）

細胞学会に平成29年度分の子宮頸がん検診推進活動費を申請したか否か申請した：35都道府県，申請しなかった：2都道府県，回答無し：4都道府県

3) 第4回子宮の日全国アクション2017報告会

第58回日本臨床細胞学会総会（大阪：2017年5月27日（土）10：10～11：30）において2017 LOVE49報告会を実施し，細胞検査士と専門医から5演題を報告した。

座長：小笠原 利忠先生，田所 猛技師

演者：羽原 利幸 技師（渉外委員会），深田 千尋 技師（愛媛県），高田 直樹 技師（兵庫県）

笹川 寿之 先生，今枝 義博 技師（子宮頸がん検診委員会）

4) 第58回日本臨床細胞学会総会および第56回日本臨床細胞学会秋期大会（5月，11月）におけるパネル展示

がん検診委員会と共同でLOVE49キャンペーンのパネル展示を行った。秋期大会でも同様にパネル展示を行う予定。

5) 細胞検査士パンフレット「がん診断の担い手細胞検査士第3版」の配布

4-10月末までに，7施設に13,500部を郵送した。印刷部数と郵送費がある限り随時継続予定。

6) 第13回がん患者大集会の会場協力（2017.11.26）予定

メインテーマ：「これからのがん医療が目指すもの～患者の力をどう活かすか？～」

メイン会場（東京都）：東京医科歯科大学M&Dタワー 鈴木章夫記念講堂

協力者：東京都細胞検査士会

7) 2018 Love49プロジェクトの準備（2017.12-2018.3）

① 2018 Love49キャンペーンの趣意書を伊藤会長へ要望し，庶務委員会から発行した。

② 2018年4月9日前後に，特定非営利活動法人子宮頸がんを考える市民の会と共に，子宮頸がん検診啓発活動を行うための準備を行っている。

③ 2018 Love49への参加希望を12月から行う予定。

8) 第5回2018 LOVE49報告会の準備

第59回日本臨床細胞学会総会（北海道）における2018LOVE49報告会の準備。

6. 編集委員会

細胞検査士会報第61号を7月に発行，62号を平成30年1月発行予定。

7. 学術委員会

1) 第56回日本臨床細胞学会秋季大会時，細胞検査士要望シンポジウムの計画，実行

2) ヤングコミティーワークショップ発足

3) 第1回，2回，細胞検査士会ワークショップ予定（2月24，25日関西）

4) 第56回日本臨床細胞学会秋期大会市民公開講座への協力

9. 国際委員会

第9回日・台・韓細胞検査士合同セミナー

開催日：2018年2月24日（セミナー），23日（福岡空港 → 熊本の半日ツアー予定）

開催地：くまもと県民交流会館パレオ10F，パレオホール

10. 情報委員会

HPの運営に関する事

- 1) 平成29年度細胞検査士会ホームページ サイト保守

HP:[ctjsc.com] [intercyto.com] (株)トラパンツ <http://www.torapants.co.jp/>

更新内容

- 2) 細胞検査士会求人情報(4-10月) 32件
- 3) 細胞検査士の「 Q & A 」リニューアル
- 4) 細胞検査士会報 Lecture記事の掲載
2017 Vol.60 福田雅美 著「口腔細胞診の診断・後編」
- 5) Internet Cytology
リンパ球系病変の純細胞形態学的観察法 蒲 貞行 著 (寄稿)
- 6) 新着情報(当会運営に関与する内容のみ)
 - ・細胞検査士会創立50周年記念事業のご案内
 - ・第9回日・台・韓細胞検査士合同セミナーのお知らせ
 - ・IAC機関誌 Acta CytologicaのImpact factor 再取得のための署名活動【依頼】
 - ・平成29年度 第1回・第2回細胞検査士養成ワークショップのお知らせ
 - ・第6回コントロールサーベイ(2016年実施)解説と正解率
 - ・2017年IAC資格認定試験の案内
- 7) 会員専用 (パスワードを変更)

役員会に関する更新

- ・平成29-30年度 役員名簿
- ・平成29-30年度 委員会名簿
- ・第1回役員会議案書 最終版
- ・細胞検査士会定時総会議案書
- ・平成28年度 役員会資料第2回役員会議事録
- ・平成29年度役員会議案書
- ・平成29年度細胞検査士会総会定時総会議案書

細胞検査士規則集について更新

- ・役員選任に関する細則
- ・役員会運営に関する細則
- ・委員会に関する細則
- ・委員会業務分担要綱

8) Love49(啓発活動)

- ・第12回がん患者大集会参加報告書を掲載

9) 各種委員会

庶務委員会

- ・平成28年度の事業計画報告と平成29年度の事業計画を掲載

渉外委員会

- ・平成27年度細胞検査士会公益広報事業活動内容

- 平成28年度渉外委員会事業報告

50周年記念事業準備委員会

- 平成29年度事業計画を掲載

10) Internet Cytology HP (Intercyto.com)

- 各領域における自己学習サイト

平成29年公開の予定であったが、症例収集と掲載作業が滞っており作業が遅れている。

現在、平成30年公開を目指している。別紙資料1

メーリングリストの運営に関する事

11) ML管理

都道府県代表者MLの代表者を変更

山形県, 千葉県, 佐賀県, 福岡県, 佐賀県, 石川県, 熊本県 (7県)

委員長ML及び役員MLの管理

役員ML: 新役員 7名追加, 旧役員 7名削除

委員長ML: 新役員 1名追加, 旧役員 2名削除

12) 他学会からの転載許諾申請

(社)日本画像医療システム工業会 医用放射線機器安全管理センターより、講習用テキストに細胞検査士会ホームページに掲載している「がんと癌：用語の説明」文の引用(転載)依頼があり、伊藤会長の許可を得て対応した。(http://www.ctjsc.com/ct/whatCT.htm) 【資料 3】 p12

11. 都道府県細胞検査士会代表者委員会

- 1) 平成29年度都道府県代表者名簿, 連絡網の作成
- 2) 都道府県代表者会議定期連絡メール配信と臨時連絡
- 3) 平成29年度第1回細胞検査士会都道府県代表者会議の開催
- 4) 平成29年度第2回細胞検査士会都道府県代表者会議の開催

12. あり方委員会

- 1) 平成29年度あり方委員会会議を開催。(日本臨床細胞学会 事務局にて)
- 2) 平成28年度細胞検査士意識調査アンケート集計結果の全報告を細胞検査士会ホームページにて公開予定。
- 3) 平成28年度細胞検査士意識調査アンケート集計結果報告を細胞検査士会 会報 Vol.62 に掲載予定。
- 4) 新規事業として、あり方委員会精度管理プログラムを企画・運営する予定(現在、開催概要のたたき台を作成中。)

目的: 細胞検査士における最低限度の品質保障をおこなう。

例 婦人科: 正常の頸管腺細胞 vs 内頸部上皮内腺癌

呼吸器: 扁平上皮化生細胞 vs 角化型扁平上皮癌

体腔液: 反応性中皮細胞 vs 腺癌細胞

消化器: 反応性胆管上皮細胞 vs 胆管癌

泌尿器: 反応性尿路上皮細胞 vs 高異型度尿路上皮癌 など

計画: 初年度は日本全国から5県ほど選抜して、5症例程度の標本の鏡検をしてもらう。標本の解答とともにアンケート(年齢, 経験年数, 所属施設など項目を絞る。)を記載してもらって、委員会内にて集計をする計画を立てた。最初の実施候補地として、北海道, 福島県, 新潟県, 東京都, 神奈川県, 大阪府, 福岡県, 沖縄県があげられており、3~4年

計画で47都道府県のすべてで実施したい。

13. 精度保証委員会

- 1) 平成29年度 地域支援「初心者細胞検査士養成ワークショップ」
平成29年6月4日(福井) 参加人数43名
- 2) 第73回・74回 細胞検査士教育セミナー セルフアセスメント問題作成会議
平成29年7月16日(東京) 学術委員会・精度保証委員会
- 3) 第73回 細胞検査士教育セミナーの実施協力
平成29年8月19日・20日(横浜)
セルフアセスメント(学術委員会・精度保証委員会連携事業)
- 4) 平成29年度 細胞検査士養成ワークショップ 問題作成会議
平成28年9月2日(大阪)
- 5) 第74回 細胞検査士教育セミナーの実施協力
平成29年9月9日・10日(倉敷)
セルフアセスメント(学術委員会・精度保証委員会連携事業)
- 6) 平成29年度 細胞検査士養成ワークショップ
平成29年10月7日・8日(大阪) 参加人数 119名
精度保証委員会会議 今後の活動方針について
- 7) 平成28年度 細胞検査士養成ワークショップ
平成29年10月14日・15日(東京) 参加人数110名(講義のみ3名)

14. がん検診委員会

「子宮頸がん検診委員会」は「がん検診委員会」に変更した(5月26日)。

15. 細胞検査士会創立50周年記念事業準備委員会

- 1) 平成29年度第1回50周年記念事業会全体会議の開催
平成29年5月26日(金) 13:00~14:00 大阪国際会議場 10F 1008
第1回50周年記念事業会全体会議議事録 【資料 5】 p14
- 2) 平成29年度第2回50周年記念事業会会議の開催
平成29年10月14日(土) 13:00~17:00 済生会福岡総合病院
第2回50周年記念事業会会議議事録 【資料 6】 p20
- 3) FM福岡「On Sundays」に伊藤会長が出演
平成29年10月15日(日) 11:00~11:15
インタビュー形式で「細胞検査士」、「細胞診検査」についての説明や、「細胞検査士になるためには」、「細胞検査士会の活動」、「50周年記念事業」等の話をいただいた。
可能であれば50周年記念誌(無料配布のDVD版)に録音する予定。
- 4) The Medical & Test Journal(株式会社じほう)から細胞検査士会50周年記念の特集企画を受けた。執筆は、伊藤会長、小松副会長、長村義之先生(日本臨床細胞学会元理事長)、小林忠男氏(元会長)、畠山重春氏(元会長)、山岸紀美江氏(元副会長)、西 国広氏(元副会長)をお願いした。11月19日の50周年記念式典会場等で、無料配布(400部程度)の予定。

V. 議案

VI. 確認・検討事項

1. 精度保証委員会活動方針について

1) 細胞検査士教育セミナーセルフアセスメントスライドの活用について

スライド貸し出しは中止とし、ホームページに解答正解率とともに、簡単な解説文を記載する方向で、情報委員会に相談し、掲載スライドはほぼ完成している。早期に掲載し今年度中掲載としたい。

2) 標本作製法について

標本作製の色々を紹介、まとめる本（ウェブ利用）としたい。そこで、役員の皆さんにアンケートをお願いし、推奨の標本作製を色々、紹介してもらいたい。【資料 4】 p13

3) 来年度の初心者細胞検査士ワークショップの開催地は青森と決定。

4) 生涯教育の一環とし、養成ワークショップのテキスト、100問症例標本を利用し、初心者をはじめ、有資格者の鏡検の場を開催したい。現在、神戸大学での開催を検討中。

2.その他

平成 29 年度細胞検査士会第 1 回役員会議事録

日時：第 58 回日本臨床細胞学会総会春期大会 平成 29 年 5 月 26 日 15 時 00 分～16 時 00 分

場所：大阪国際会議場 10 階 1008

出席：〔会長〕伊藤 仁〔副会長 2〕小松 京子，片山 博徳，〔幹事 38〕平田 哲士，阿部 仁，仲村 武，深澤 政勝，河原 明彦，阿部 英二，古田 則行，南部 雅美，小川 勝成，遠藤 浩之，原田 仁稔，竹中 明美，今枝 義博，三宅 真司，安達 博成，石井 保吉，及川 洋恵，大野 喜作，柿沼 廣邦，川口 詳司，小林 幸弘，小山 芳徳，笹井 伸哉，渋谷 康雄，田所 猛，棚田 諭，野崎 正行，畠 榮，服部 学，羽原 利幸，廣井 禎之，藤田 勝，松本 慎二，丸川 活司，丸田 淳子，三宅 康之，矢羽田 一信，横山 俊朗〔監事 2〕上野 喜三郎，片岡 秀夫（敬称略）

会の成立：役員 47 名中 43 名出席，委任状提出 4 名，仲村庶務委員長が成立を宣言

議長選出：役員会運営に関する細則第 6 条により，平田総務委員長を選任

議事録作成：庶務委員会（笹井幹事，丸川幹事）

議事録署名人：伊藤会長，上野監事

1. 議事録の確認と報告事項

1) 平成 28 年度細胞検査士会第 2 回役員会議事録

2) 物故会員報告

川岸 克博 殿 (CT 4530)

鎗田 彌一 殿 (CT 2060)

五百部 浩昭 殿 (CT 5658)

3) 議案書Ⅳ. 報告事項の記載のように報告があった。

2. 議案審議結果

1) 第 1 号議案：「役員会運営に関する細則」の変更 承認

2) 第 2 号議案：「役員選任に関する細則」の変更 承認

3) 第 3 号議案：「委員会に関する細則」の変更 承認

4) 第 4 号議案：「委員会業務分担要綱」の変更（附則追加）承認

5) 第 5 号議案：平成 28 年度事業報告及びこれに伴う収支決算書 承認

6) 第 6 号議案：監事の選任 承認

3. 議案審議内容

1) 第 1 号議案：「役員会運営に関する細則」の変更

羽原幹事：第 6 条の 3 にある「議長は，構成員の発言が会議の品位をきずつけ，または議事妨害であると認めるときは注意しなければならない。なお従わない場合は発言を禁止することができる。」とは，具体的にどの様なことが想定されているのか。

平田総務委員長：今まで議長というのが決まっていなかったことと，議長が会を進めるにあたって，支障がないように不測の事態に備える。現在の細則では，電子通信手段に関する細則が あり，その細則にのっとった形で行うことを明記した。

2) 第 3 号議案：「委員会に関する細則」の変更

安達幹事：検査士会委員会の構成員まで正会員を求めるのは猶予期間があるとしても、厳しく、混乱があるのではないか。正会員等の発足当時、正会員であることを求めないということを知っていた。

羽原幹事：子宮頸癌検診委員会などの各委員も正会員でなければならないのか。

羽原幹事：正会員数が伸び悩み、今後も期待できない現状から、例外を除くのは会として不利益とならないか。

石井幹事：日本臨床細胞学会として各都道府県等で講習会を開催する場合、正会員2名以上が申請しなければ点数がつかないということになっていることから、時代の流れと考える。

平田総務委員長：現状、細胞検査士会では正会員のメリットがないことから、その点からも必要ではないか。

伊藤会長：役員も委員も一丸となって正会員となり、そこで活動しようと高い意識をもって務めて頂きたい。地位向上を目指すならば、役員は基より一緒にやっている委員の方々にも高い意識をもってやって頂きたい。

3) 第4号議案：「委員会業務分担要綱」の変更（附則追加）

今枝がん検診委員長：委員の人数に関しては、各都道府県から1名ずつではなく、全国から10人に絞って選出する。がん検診委員会としては、選出する委員は正会員で問題ない。

4. 確認・検討事項

1) 伊藤会長より29-30年度役員会構成が示され、確認した。

2) 庶務委員会内規変更

「庶務委員会内規資料ならびに公印の管理に関する取り決め」を確認した。

3) 都道府県代表者委員会内規変更

「都道府県細胞検査士会代表者委員内規 地域連携に関する取り決め」

「地域組織登録用紙」「地域組織代表者名簿 地域組織代表者名簿」「地域組織活動調査用紙」を確認した。

5. その他

1) 50周年記念事業

三宅実行委員長：皆さまのご協力により、着々と準備が整って来ていますが、賛助金、広告料がまだ目標額まで到達しておりません。引き続き、皆さま方から関連企業・団体へのお声掛けを宜しくお願い致します。また、当日の記念事業へ多くの会員に参加していただきたいので、参加要請のアナウンスも宜しくお願い致します。

2) 細胞検査士アンケート調査

安達幹事：あり方委員会で行った細胞検査士アンケート調査に関して、どのような形で報告されるのか。

原田あり方委員長：項目別に分析して、細胞検査士会HPと12月の会報に掲載する準備をしている。

3) 都道府県細胞検査士会代表者について

平田総務委員長：都道府県細胞検査士会との連携に関する細則に関して再確認したところ、都道府県細胞検査士会代表者として認定する要件として正会員であるとなっている。代表者の方は正会員になることが推奨される。

4) 監事の交通費，宿泊費について

伊藤会長からの本部経費から支出する提案を確認した。

6. 閉会

伊藤会長：皆様，ご協力ありがとうございました。明日の総会から新しい体制で動くこととなります。これで任を終えられる役員の皆様方には，これまでのご貢献に関してまして厚く感謝申し上げます。新たに委員長になられている方々には，各委員会の活性化と次世代への人材育成も含めて委員長の力を発揮して頂きたい。大きい委員会である学術委員会と精度保証委員会には内部に会計担当者を置き，経理とのつなぎ役となって頂きたい。

50周年事業に関しましても是非，皆様方の御協力を宜しくお願い致します。細胞検査士が，教育セミナー，ワークショップ，細胞検査士養成講習会とほぼ日本臨床細胞学会が主催する行事の実施委員長を行うようになってきましたが，学術集会の学会長を細胞検査士がまだ務めたことはありませんので，是非，それを目指して努力していきたいと思えます。具体的には2020年秋の学術集会を目標に考えていますので，どうぞ宜しくお願い致します。

議事録署名人 伊藤 仁
上野 喜三郎

平成 29 年度 細胞検査士会定時総会議事録

日時：平成 29 年 5 月 27 日（土）14:50～15:50

会場：大阪国際会議場 10F 1003

参加人数：68 名

議長選出：総会に関する運用細則 第 5 条により、平田総務委員長が議長に選任

議事録作成：庶務委員会（仲村委員長）

議事録署名人：澁木 康雄，棚田 諭

1. 報告事項

1) 物故会員：仲村庶務委員長が氏名を朗読し、出席者全員で黙祷を捧げた。

川岸 克博 様（CT 4530）

鎗田 彌一 様（CT 2060）

五百部 浩昭 様（CT 5658）

2) 平成 29-30 年度役員選挙について

伊藤会長：2 期目を務めさせて頂きます伊藤です。役員構成についてはそれほど大きな変更はありません。若干の委員の方の入れ替わりがあります。これで任期を終えられる役員の方の功績には心より感謝申し上げます。また、日本臨床細胞学会の理事選挙において全国区 20 名の中、石井前会長、小松京子さんと私 3 名が当選させて頂きました。ご協力頂きました皆様には心より御礼申し上げます。日本臨床細胞学会の事業では細胞検査士が実施委員長を務めています。これから学術集会を含めて、曲がり角に来ていると思いますので、細胞検査士も日本臨床細胞学会の企画・運営に積極的に関与しなければならないと考えます。これまで以上に正会員を増やして、細胞学会の中で細胞検査士の地位の向上に向けて務めて行きたいと思います。50 周年記念事業を秋の福岡の学会で行います。多数の皆様にご出席頂き、細胞検査士会の総力を結集して成功させたいと思いますのでどうぞ皆様宜しくお願い致します。

3) 規則類の変更

①「役員会運営に関する細則」

②「役員選任に関する細則」

③「委員会に関する細則」

④「委員会業務分担要綱」

4) 細胞検査士創立 50 周年記念事業

山本氏：委員会に関する細則で「正会員でなければならない」となっているが、これから委員として活躍して頂く方には自主的に正会員になるという気持ちにする細胞検査士会になることが望ましい。正会員でなければならないとするのは若干違和感があり、これに至った経緯を説明して頂きたい。

伊藤会長：委員会の委員もしっかりとした高い意識を持って会のなかで活動して頂いて、人材育成も含めていろいろな意味で正会員としてやって頂きたいと提案し、役員会で賛成多数で可決されました。私はプラスに考えて、正々堂々と役員、委員会活動して頂きたいと思います。

山本氏：正会員がいない都道府県にも委員が加わるように配慮して頂きたい。

伊藤会長：一県だけ正会員がいないところがあるが、規則上都道府県代表者は正会員でなければならないとなっています。7400名ぐらい細胞検査士のうち、正会員が1000名ぐらいにとどまっています。もっと正会員を増やしたい意味もありますし、その先頭に立っていくのがわれわれ役員、および積極的に活動を活性化していきたい委員会ですので、そのためにも高い意識をもって正会員として活動して頂きたいと思います。

岡本氏（住友病院）：役員選挙の投票数を公示した方が会員全体に細胞検査士会を引っ張って頂く役員を認識しやすいと思います。また公表するのが選挙のあり方だと思います。

伊藤会長：このような選挙方法はこれで3回目になりますが、特に役員会でも公表してほしいとの意見がありませんでした。次回からは公表するように考えます。

青木氏：新しい子宮頸癌検診ガイドラインを作成中と聞いている。HPVの有効性があると入るらしいがそのような情報は細胞検査士会に入っていますか。

今枝子宮頸がん検診委員長：そのような情報は収集していません。HPVの併用なのかどうか、委員会として早急に過去のデータを集めてどういう形がいいか、みなさんに考えて頂けるような形にしていきたい。

青木氏：産婦人科学会では子宮頸癌検診でHPV同時併用を考えているが、ヨーロッパなどでは1次検診をHPV、2次検診を細胞診と決まったそうです。現在の様な低い検診率で1次、2次検診になると検体数が減ります。もし外国並に検診率を7割に上げていかないと、HPV併用検診に入ると細胞検査士にとってはいろいろ問題が起きる様な気がしてなりません。これからも情報を集めて、今まで細胞検査士がやってきたことが検診に生かされるように意見を発信して頂きたいと思います。

今枝子宮頸がん検診委員長：細胞検査士の立場からデータを集めて、細胞診の意義を提示していきたいと思います。

2. 議案審議結果

1) 第1号議案 平成28年度事業報告および収支決算 承認

議案説明は阿部経理委員長、上野監事が監査報告。

2) 第2号議案 平成29年度事業計画およびこれに伴う予算 承認

議案説明は阿部経理委員長。

伊藤会長：細胞検査士教育セミナーが収容人数の問題で今年からパシフィコ横浜で開催され、参加費も9000円に値上げされた。

3) 第3号議案 監事の選任 承認

上野 喜三郎 氏

片岡 秀夫 氏

Internet cytology 症例の掲載状況



掲載済



準備中

Internet Cytology カスタマイズ 19 0 + 新規 こんに

脳・神経系	耳下腺	甲状腺	乳腺	呼吸器	消化器	泌尿器
骨・軟部	リンパ節	子宮頸部	子宮体部	卵巣	体腔液	ホーム

what's new

2016年11月5日 [Hello world!](#)

Internet cytologyへようこそ

- [サイトの目的について](#)
- [使用方法](#)
- [細胞の見方](#)
- [基本編](#)
- [設問と回答](#)
- [解説](#)
- [診断に役立つ情報](#)

お知らせ

- [肺癌検診における喀痰細胞診の判定区分別標準的細胞](#)
- [リンパ球系病変の細胞形態学的観望法](#)

Internet Cytology

細胞検査士会が制作した
自己学習サイト

link

- [Acta cytol](#)
- [Journal of Cytology & Histology](#)
- [PubMed](#)
- [CINii](#)
- [JAMT](#)
- [JSCC](#)
- [J- ATAGE](#)
- [PubMed Central@](#)

一般の方向け> どうして、癌は英語でCancer(カニ)なの 「がんと癌：用語の説明」からの説明文の転載引用

がんと癌：用語の説明

<http://www.ctjisc.com/ct/whatCT.htm>

まず、最初に用語の説明をします。みなさんはよく「がん」とか「癌」ということばを目にしたり使われていると思います。医学用語では「がん」と「癌」は使い分けられています。先ほども述べたように「がん」は細胞の病気で、我々の体はいろんな種類の細胞からできています。



まず、体の表面を覆っている細胞と言えば皮膚を思い浮かべるとは思いますが、内側の表面：食道、胃、腸などの内面も細胞に覆われています。



また、膀胱、子宮の内面の細胞や乳腺、肝臓、膵臓などの細胞も細い管（腺腔）を介して外につながっています。

このような体の表面や体の中の臓器の内面を覆っている細胞や、体の外とつながって腺腔をつくっている細胞を上皮（じょうひ）細胞と言います。

この上皮が悪性化（がん化）したものを「癌」と言って漢字で書きます（胃癌、大腸癌、食道癌、皮膚癌、膀胱癌、子宮癌など）。

上皮のほかにも体の中には組織があります。



筋肉、骨、血液細胞、リンパ球などです。筋肉や骨が悪性化（がん化）したものは「癌」と漢字では書かないで、肉腫（平滑筋肉腫、横紋筋肉腫、骨肉腫など）と言います。



また、血液細胞やリンパ球が悪性化したものは、白血病、リンパ腫というように表現します。

「癌」、「肉腫」「白血病」「リンパ腫」など全ての悪性腫瘍を表現するときには「がん」または「ガン」とひらがなやカタカナで表現します。

放射線治療装置専門講習テキスト

第1章 原稿案_01_装置基礎概論_20170719

医用放射線機器点検技術者 放射線治療装置専門講習テキスト

(1)細胞検査士会 <http://www.ctjisc.com/ct/whatCT.htm>

1.1.2 がんと癌（参考）

医学用語では「がん」と「癌」は使い分けられている。

「がん」は、「すべての悪性腫瘍の総称」。「癌」は上皮から発生した悪性腫瘍を指す

「がん」は細胞の病気で、我々の体はいろんな種類の細胞からできている。

まず、体の表面を覆っている細胞と言えば皮膚を思い浮かべるが、内側の表面：食道、胃、腸などの内面も細胞に覆われている。また、膀胱、子宮の内面の細胞や乳腺、肝臓、膵臓などの細胞も細い管（腺腔）を介して外につながっている。このような体の表面や体の中の臓器の内面を覆っている細胞や、体の外とつながって腺腔をつくっている細胞を上皮（じょうひ）細胞と言う。この上皮が悪性化（がん化）したものを「癌」と言って漢字で書く（胃癌、大腸癌、食道癌、皮膚癌、膀胱癌、子宮癌など）。

上皮のほかにも体の中には組織がある。筋肉、骨、血液細胞、リンパ球など。筋肉や骨が悪性化（がん化）したものは、肉腫（平滑筋肉腫、横紋筋肉腫、骨肉腫など）と言う。

また、血液細胞やリンパ球が悪性化したものは、白血病、リンパ腫というように表現する。

「癌」「肉腫」「白血病」「リンパ腫」など全ての悪性腫瘍を表現するときには「がん」または「ガン」とひらがなやカタカナで表現する。(1)

**平成 29 年度 第 1 回
細胞検査士会創立 50 周年記念事業会 全体会議**

日時：平成 29 年 5 月 26 日（金） 13:00~14:00

場所：大阪国際会議場 10F 1008

出席者：伊藤 仁，片山 博徳，小松 京子，三宅 真司，阿部 英二，仲村 武，阿部 仁，
平田 哲士，深澤 政勝，古田 則行，南部 雅美，大田 善孝，原田 仁稔，
小林 忠男，畠山 重春，有田 茂実，笹井 伸哉，丸川 活司，青木 裕志，
小材 和浩，横山 俊朗，松本 慎二，川口 詳司，棚田 諭，寺戸 信芳，松田 勝也
藤田 勝，川崎 辰彦，羽原 利幸，白波瀬 浩幸，三浦 弘守，野口 裕史，
河原 明彦，今枝 義博，相知 優子，佐藤 真介，上野 喜三郎

I 会長挨拶

II 進捗状況説明および課題検討

1, 賛助金・広告料：阿部 仁 会計部長報告

現在，広告料の申し込みは 45 万円が集まっている。予算立ては 50 社，150 万円を目標にしている。賛助金は 225 万円集まっている。予算立ては 40 社，200 万円であり賛助金では 25 万円ほど上回っている。しかしながら，賛助金，広告料を合わせた最終目標金額は 350 万円であり，80 万円少ない状況にある。よって委員の方からも各企業に声かけをしてもらい，賛助金，広告料を秋期大会までに目標金額に到達出来るよう協力してもらいたい。

(伊藤会長)

賛助金について，サクラファインテック社に別件で来社した際に，賛助金の協力依頼を行ってきた。現在 4 口であるが，加えて 8 口の計 12 口（60 万円）の賛助金協力の確約を得た。また，ロシュ社が 2 口協力して貰えることになった。

2, 祝賀会：阿部 英二 事務局長報告

- (1) 祝賀会の時間は平成 29 年 11 月 19 日（日）17:00~19:00。当初は 18:30 までと考えていたが，当日は大相撲九州場所が開催されており，大相撲観戦の客と帰りの時間が重なり，会場周辺は混雑が予想されるため，30 分延長し 19:00 終宴とした。
- (2) 祝賀会の会費は平成 28 年度委員長会議にて，3,000 円で決定している。また，参加人数は 300 名以上を目標にしている。
- (3) 参加者の帰路の交通手段として，当初は貸切バスで博多駅方面ならびに空港方面と計画をしていたが，それでは全員が揃うまで出発できないという問題があるため，福岡サンパレスより，博多駅方面には，28 人乗り 1 台，26 人乗り 2 台のマイクロバス計 3 台を時間差で 2 往復する。また福岡空港を利用する参加者には，タクシーチケットを配布するが 3 名以上の乗車が利用条件となる。これらの交通手段は貸切バスよりも安価であると，福岡サンパレスからの提案で決定した。

- (4) 祝賀パーティーの参加者受付について
事前申し込みを原則とするが、当日参加申し込みも受け付けることとする。
受付設置場所は、福岡国際会議場受付フロアの一角あるいは、福岡サンパ
レスに置き、その場で参加証を発行する。
- (5) 祝賀パーティー参加依頼の周知方法について
細胞検査士会会報はもちろんであるが、その他細胞検査士会 HP や各都道府県
HP あるいは各地区の勉強会等で会員に参加を呼びかける。

懸案事項

- (1) 参加者のクロークについて
現在、学会事務局と交渉中であるが、祝賀会参加者は通常の学会クロークでは
なく祝賀会専用クロークを利用して貰いたい。
- (2) 祝賀会参加費について
この会議で決定して欲しい案件である。
参加費は 3,000 円としているが、当日受付も同じ金額であった場合、振込手数料等を考えると、
当日受付の方が安くつくため、当日受付の会員が増えた場合、運用上非常に困る事になる。事
前受付をした会員は特典を付ける必要がある。そこで、案 1 として事前受付の会費を 2,500 円、
あるいは事前受付は 3,000 円とし加えて景品を付ける。しかしながらこの案は予算等の関係が
影響してくる。案 2 として事前受付の会費は 3,000 円、当日受付を 3,500 円とする。いずれに
しても何らかの差をつけなければならないと考えている。
- (1) の参加者のクロークについて
(三宅実行委員長)
学会のクロークは学会閉会后（午後 5 時位）閉鎖するため、祝賀会参加者は専用クロークが必要
となる。部屋については有料の可能性もあるが、頼まざるをえないと思う。
(阿部事務局長)
現在、クロークの場所を考えているのは、サンパレス 2F、筑紫の間を考えており、学会の了承
を得られれば、この場所がクロークとなる。
(三宅実行委員長)
クロークスタッフについて、サンパレス側からスタッフを出してもらえるか、細胞検査士会側
から出すのか。
(阿部事務局長)
スタッフについては、細胞検査士会側から出す。
(三宅実行委員長)
クロークの件、ならびにスタッフの件については、この方向で考えていく。
- (2) 祝賀会参加費について
(三宅実行委員長)
現在 3,000 円としているが、これについて協議してもらいたい。確かに事前申し込みと当日申
し込みの金額が同じということは問題がある。
当日申し込みを 3,500 円とした場合、会計処理上難しくなるのではないか。
事前申し込み 3,000 円、当日申し込み 4,000 円とするか。
(阿部会計部長)

当日申し込み 3,500 円となると、金額が中途半端で、お釣りの準備も大変となる。

(羽原委員)

基本的には差をつけなければならないと思う。事前申し込みを前提に考えた上で、あとは収支の関係上赤字にならない方向で考えなければならないと思う。

(仲村庶務部長)

案内には、当日申し込みも受け付けることを記載するのか。

(阿部事務局長)

会報の発行は7月下旬のあと1回しかない。編集委員会としては、会報に事前申し込みならびに、当日申し込み等を掲載したいと考えている。

(伊藤会長)

いろいろな事情を加味した場合、やはり差をつける必要がある。事前申し込み 3,000 円、当日申し込み 4,000 円が妥当ではないか。

事前申し込み 3,000 円、当日申し込み 4,000 円で承認された。

(三宅実行委員長)

次にプログラムのタイムスケジュールについてであるが、細胞検査士要望教育シンポジウムと記念式典が全く休みなく続いている。式典の準備等の時間が取られていないがその点についてどうか。

(阿部事務局長)

当然舞台等、式典用に変更しないといけないと思う。この件については懸案事項として今後協議していく。

(伊藤会長)

タクシーについて、乗り場に多くの人がタクシー待ちになる可能性があるので混雑をしないようにサンパレスと事前に打ち合わせをするようにしてほしい。

(阿部事務局長)

サンパレスと打ち合わせを行っているが、午後 6:00 過ぎからタクシーを準備し、待ち時間がなくタクシーに乗車できるようにしていきたい。

3. 細胞診と細胞検査士展：南部 雅美 事業部長報告

開催時間は、18日は10:00～16:00まで19日は10:00～13:00までとなっている。場所は天神三越デパート下のイベントスペース、ライオン広場。事業の内容として細胞診とは、細胞検査士とは、また細胞検査士になるには、がん検診の啓発などを主体とする。

市民に配るリーフレットについては、河原渉外委員長よりすでに作成している。細胞検査士のリーフレットがあるので、それを5,000部準備する。またがん検診委員会の今枝委員長より子宮がん検診に関するリーフレットがあるので、それに加えてティッシュペーパーを5,000部準備し、それを2日間で配布する。

懸案事項

- (1) 顕微鏡やコンピュータ等を設置しており、18日16:00の終了後から翌日の開始までの間、これらの機器をどうするのか FM 福岡放送担当者と協議した結果、警備員を配置する方向で考えている。

- (2) FM 福岡放送担当者より“TENJIN TWO DAY JACK”の提案があり，採用する方向で考えている．
- (3) 市民からの質問や口腔擦過の細胞診を行うため，医師 3 名に時間割りで常駐してもらう．

(三宅実行委員長)

(1) の中での警備員の経費について，予算案に含まれているのか．

(南部事業部長)

経費は予算案に含まれている．

(三宅実行委員長)

実行委員の人数は足りているのか．

(南部事業部長)

増員しているので大丈夫である．

(仲村庶務部長)

事業部だけで 9 名しかいないが，イベントに加えてリーフレット等の配布もあるが，人数的に大丈夫か．

(南部事業部長)

福岡県細胞検査士会に数名お願いしているが，更に必要になった場合は相談することになる．

4, 50 周年記念誌：深澤 政勝 編集部長報告

現在，記念誌の概要，更に執筆者もほぼ決定し，依頼状は発送している．

作業が遅れているのは“第 7 章 教育活動の歴史”については早急に対応する．

また，“第 8 章 関連企業 50 年の歩み”については，2 口以上の賛助金に協力してくれた企業に執筆をお願いすることになっている．

懸案事項

- (1) 記念誌の送料がかなり高額になることが予想されている．記念誌 1,500 部と DVD 8,000 枚を送付するが，合計金額で約 262 万円を予算として計上している．この点について何とか削減できないか印刷会社とも相談をしているが，物流の値上げがあり，現実問題として難しい状況にある．
- また確認事項として，記念誌で第 10 章の中に 50 周年記念式典の項があり，式典や祝賀会，細胞検査士展などの写真撮影担当者を決めていない．記念誌の委員はもちろん写真撮影を行うが，人員数に不安がある．これらの点について確認したい．

(三宅実行委員長)

DVD の送料に関しては以前，会報を配送する際に一緒に送るという案が出ていたが，その案はどうなっているのか．

(阿部事務局長)

編集委員会としては，会報を配送する際に DVD も同封することには経費的にも余り掛からないと思われ且つそちらのほうが合理的であると考えているが，会計の問題つまり，50 周年記念事業が編集委員会の事業の会計と重複しているため，それらの件についてクリアできれば問題はない．

(阿部仁 会計部長)

DVD を同封しても、送料は変わらないと考えるため、会計からみても節約できる。但し決算締めがあり、発送が3月以降になる可能性もあり発送時期をみて会計上、編集予算を組まなければならない可能性もある。いずれにしても会計の立場では、経費節約に繋がることから会報に同封することに賛成する。

(三宅実行委員長)

会報に同封となると送料 262 万円から、かなりの金額が節約できる。

(深澤編集部長)

記念誌については郵送しなければならないが、DVD が会報に同封となれば送料は概算で 150 万円程度になると思う。

(三宅実行委員長)

記念誌の場合は 1,000 円を徴収することになっている。いずれにしても会報に DVD を同封することでかなりの経費が抑えられることになる。

また写真については広報担当者がいないため、各企画から 1 名を写真撮影担当と選出するのも一つの場合であるが。

(伊藤会長)

各企画の中で写真撮影者を考えてもらう事にはどうか。

(南部事業部長)

記念誌の中で“第 9 章 世界で活躍する細胞検査士”の項でチェックが入っていない執筆者は、断られたということか。

(深澤編集部長)

まだ一部連絡が取れていない執筆者がいる。断られたということではない。

5. 功労賞選考委員会：大田委員長

各都道府県がほぼ出揃っている状況である。現在決定していない 5 県について、兵庫県は候補者が多いため選挙で決定する。岡山県は決定した。岐阜県、山口県、愛媛県については条件を満たす候補者がいないということで代表者の方から連絡を貰っている。よって 86 名から 3 名減り、83 名となった。この件について審議してもらいたい。また表彰盾はメーカーから会場に送ってもらう。事前に式典に出席できる受賞者名（代理出席を含む）を把握し、出席者には全員に表彰盾を渡す。欠席者については業者に直送を依頼する。また急遽出席できない受賞者に関しては委員会で持ち帰って再送する。

(三宅実行委員長)

功労賞受賞者候補については承認する。

また表彰盾を渡す方法について委員会で決めてもらっているが、意見はないか。

委員会で決めた案について問題点はないか。

(大田委員長)

急遽出席ができなくなった受賞者に対して、メーカーから直送ができないため表彰盾をどのような方法で誰が責任をもって送るのかを決めていない。

前もって都道府県代表者には、委員会より受賞者のファイル送り、出欠の確認、受賞者の名前等を確認してもらう。欠席される受賞者には、盾の送り先を記入してもらう。

(古田学術部長)

誤字、脱字など確認は本人に直接してもらったほうが良いのではと思う。

(畠山委員)

代表者を通じて、本人に必ず確認してもらう方法はどうか。

(大田委員長)

そのようにしたい。

(深澤編集部長)

記念誌の中に受賞者を代表して1名の方に執筆を依頼することになるが、推薦についてどうしたらよいか。

(三宅実行委員長)

表彰選考委員会の中で決定してもらうのが良いと思う。

(仲村庶務部長)

受賞者の名前を呼んで、代表者に盾を授与するのか。

(三宅実行委員長)

時間短縮のため、名前をスクリーンに流す方法もある。

(大田委員長)

祝賀会の事もあり、功労賞表彰を如何に時間短縮するかが検討課題となる。

(三宅実行委員長)

40周年記念の際は名前を呼んだが、それによると約20分掛けている。

今後検討していく必要がある。

(古田学術部長)

手渡さない場合、盾が重いという受賞者もいるのではないかと。手渡しをする受賞者のみで、他は直送でよいのでは。

(大田委員長)

その案もあるが、実際に手にしたいという意見もある。また記念写真も取りたいのではないかと考えている。

6. その他質問等

(仲村庶務部長)

クロークの件であるが、学会2日目に会場に入る際に、学会クロークに間違えて預ける可能性があるのではないかと。また、クロークの開始時間を事前に会員に伝えてもらいたい。

(阿部事務局長)

言われる通りと思う。また2日目の朝より学会クロークに委員を配置して、祝賀会参加者は専用クロークを利用するように注意喚起する。

平成 29 年度 第 2 回
細胞検査士会創立 50 周年記念事業会 会議

日時：平成 29 年 10 月 14 日（土） 13:00~17:00

場所：済生会福岡総合病院

出席者：伊藤 仁，阿部 英二，南部 雅美，横山 俊朗，大田 善孝，河原 明彦，
松本 慎二，小材 和浩，寺戸 信芳，緒方 昌倫，佐藤 真介，碓 益代，
相知 優子，三宅 真司

（記録：三宅 真司）

I 会長挨拶

II 各企画におけるマニュアル確認作業

1. 受付：阿部事務局長

備品の準備，担当者，受付マニュアルの確認

2. 記念式典：阿部事務局長

スケジュール，受付，特に来賓に関する対応についての確認
式典式次第，席次表の確認

3. 功労賞盾授与式：大田表彰選考委員長

備品の準備，担当者，誘導などの確認

4. 祝賀会：阿部事務局長

スケジュール，会場誘導，備品の準備，入口でのネームホルダーチェック
受付，クロークの場所，参加者帰路手段の確認

5. 細胞診と細胞検査士展：南部事業部長

スケジュール，担当者，会場設営，展示内容についての確認